

災害初動マニュアル (家庭版)

全国産業資源循環連合会青年部協議会

はじめに

今、日本全国で地震、台風、豪雨被害とあらゆる地域で起こっている災害。

まさか自分の地域で起こるわけが無い、或いは自分だけは大丈夫など、誰もがこんな事を考えてしまいがちです。しかし、ここで考えてみましょう。もしも本当にその時が来てしまったら…いざ災害が起きた時、あなたは大切な家族や自分自身の命を守れますか？

実際に災害を経験された青年部の方からお話を伺いました。災害時はとにかく連絡がつかなくて不安だった『**こんな時はこうする!**』といった、家族のルールを決めてさえいればもっと安心して行動できたかもしれない。そんな声をきっかけに、この度マニュアルを作成させて頂きました。

大切な命を守る為、災害時の初動について家族で一緒に話し合ってみましょう。

災害発生時の初動について

(1) まずは家族で話し合う時間を決めましょう。

(2) わが家独自の初動マニュアルを作りましょう。

実際に災害が起きた時、マニュアルがあっても読む時間はありません。

誰でもわかる最低限のシンプルな決め事を話し合ひましょう。



1 わが家独自のテーマを決めましょう。

2 どんな災害について話し合うか決めましょう。
・地震、津波、台風、水害

3 災害発生時は誰の指示に従うかを決めましょう。
・外出中、自宅にいる時

4 避難場所を決めましょう。
・外出中、自宅にいる時

5 安否確認の方法を決めましょう。
・災害用伝言ダイヤル171

6 わが家独自のルールや情報について
・勝手に捜しに行かない
・家族の携帯番号をメモしておく

(3) 決めた事は紙に書いて目に触れる所へ貼っておきましょう。

また、携帯できるカードにも情報を書いて持ち歩きましょう。

(4) 定期的に反復確認し、家族の状況が変わった時には必要に応じて内容を見直し更新しましょう。

豆知識

- まずは命を守る行動をとりましょう
- 頭を守る
- 火を消す
- ブレーカーを落とす
- 塀やビルから離れる
- 車を止めて情報収集 (テレビ・ラジオ)
- きちんとルールを決めて捜しに行かない
- 車のガソリンは半分以上残しておきましょう
- 避難カードの作成 (住所・氏名・生年月日・血液型・障がい・アレルギー etc)
- 家族で決めておく連絡ルール (安否確認・集合場所・行先のメモ掲示)
- 災害用伝言ダイヤルの番号周知とで使い方実演



- 家具の補強
- 地域の避難所の確認
- 携帯電話の充電
- 消火器



防災グッズを備えましょう

- 飲料水・非常食料 (家庭3日分が目安、飲料水1人1日3ℓ)
- 救急医療薬品類 ● 携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池
- 現金、貴重品 ● 衣類、下着 ● 簡易トイレ
- その他
・通帳・印鑑・ロウソク・ライター・ナイフ・手袋
・毛布・ヘルメット・防災ずきん・生理用品・ミルク
・ほ乳びん・紙おむつ・おもちゃ等